

2022—2023年度
国際ロータリーテーマ



第2730地区 鹿児島サザンウインドロータリークラブ

事務局・例会場	ホテルレクストン鹿児島	2022-2023年度
〒892-0844	鹿児島市山之口町4-16 4A	会 長
TEL 090-5295-2736		会長エレクト
FAX 099-210-7887		幹 事
例会日 1ヶ月3回 木曜日 12:30~13:30		編 集
Eメール kswrc@po5.synapse.ne.jp		HP https://ksw-rc.org

国際ロータリー会長 ジェニファー・ジョーンズ
第2730地区ガバナー 山ノ内 文治
鹿児島市内ガバナー補佐 Aグループ 上野 欣一
Bグループ 宮内 秀人

第1138回例会 2022年(令和4年)8月4日(木) 本日のプログラム「クラブフォーラム(会員増強研修委員会)」 VOL.27-4

前回第1137回例会(7/28(木))の報告 於: WEB例会

【会長挨拶】 会長 水流純大

皆さんこんにちは。昨日は県内で3,328人の新型コロナ感染者が確認され過去最高を記録しました。感染拡大が続いていることから本日もWEB例会といたしました。来週は新入会員の入会式もあるため、何とか感染防止対策を講じたうえでリアル開催を行いたいと思っておりますが、新規感染者の拡大傾向が続いていることから、ご心配な方はオンライン配信もございますので、オンラインでご参加いただければと思います。

さて、本日は前回に引き続き、日本におけるインクルーシブ保育やインクルーシブ教育の現状についてお話したいと思います。

前回の会長アドレスでは、25年前に私の施設に入所してきた重度知的障害と自閉症の障害を持つ4歳の男の子の話をしました。その当時は、障害児を専門的に指導する施設はたいへん少なく、鹿児島県内には数ヶ所しかなく、しかも、その施設を利用するには、障害者手帳を所持するか医師の診断を受けるかの方法で、その子どもが「障害児」であることを証明しなければなりません。

現在、障害児の療育を専門とする児童発達支援事業所は、県内に約300カ所、全国では4500カ所以上に上ります。以前であれば、「障害」として認知されていなかった「発達障害」が「障害」の一種として認知され、それらの子どもの療育を行う施設が爆発的に増加しました。その大きなきっかけとなったのが、平成24年の児童福祉法改正です。この法改正により障害者手帳の取得や医師の診断等の方法により「障害児」であることを証明しなくても、いわゆる「発達が気になる段階」から専門的な療育を受けることができるようになりました。子どもの発達や成長には個人差があり、早い子もいれば遅い子もいます。先天的な障害等の明確な障害でなければ、幼児期にはその発達の遅れが障害のせいなのか、単に個人差なのか判断することは困難です。しかしながら、「障害児」であることが確定してから専門的な療育を行っても遅いのです。したがって、「障害」があるかどうかは分からないけれど、「発達が気になる段階」から専門的な療育を受けることは子どもが成長していくときに必ずプラスになります。私の法人でも5つの児童発達支援施設を運営しており、定員70名に対して140名以上の登録者がおり、幼稚園・保育園・こども園に通いながら週に数回通って来るいわゆる「並行通園」の子どもがほとんどです。その意味では、幼児期においては子どもの発達や成長に対する「多様性」を尊重する社会になってきたと言えると思います。

一方で、就学後の状況はどうなっているかという点、小中学校の特別支援学級に在籍する児童生徒数は平成22年度が約14万5千人だったのに対して、令和2年度は約30万2千人とほぼ倍増しています。少子化により子どもの人口が年々減っているにもかかわらず、特別支援学級で学ぶ子どもが急増しているのは、専門的な指導を受ける場が充実してきたとも言えますが、逆に、障害のある子どもとない子どもとの隔離・分断が進んでいるとの見方もできます。この傾向は、子どもが学校を卒業した後の社会の状況にも反映されているように感じます。

少子化により子どもの人口が年々減っているにもかかわらず、特別支援学級で学ぶ子どもが急増しているのは、専門的な指導を受ける場が充実してきたとも言えますが、逆に、障害のある子どもとない子どもとの隔離・分断が進んでいるとの見方もできます。この傾向は、子どもが学校を卒業した後の社会の状況にも反映されているように感じます。

少子化により子どもの人口が年々減っているにもかかわらず、特別支援学級で学ぶ子どもが急増しているのは、専門的な指導を受ける場が充実してきたとも言えますが、逆に、障害のある子どもとない子どもとの隔離・分断が進んでいるとの見方もできます。この傾向は、子どもが学校を卒業した後の社会の状況にも反映されているように感じます。

《ロータリークイズ NO.3》

世界初の例会は1905/2/23 弁護士ハリス、石炭商シール、洋服商ショーレ、鉱山技師ローアの4名で始まりました。では、2週間後の第2回例会で何名の増強がなされた? ①2名 ②3名 ③4名

2022-2023年度 国際ロータリーのテーマ 「IMAGINE ROTARY」
第2730地区スローガン「知力を高め 未来に繋げ 多様性あるロータリークラブの実現に」
クラブスローガン 「笑顔輝く明日を創ろう！」

1982年の国際障害者年行動計画の国連決議の中に次のような文章があります。「ある社会がその構成員のいくらかの人々を閉め出すような場合、それは弱くもろい社会なのである」

この言葉は、障害の有無だけでなく、性別や民族、人種、肌の色、性的志向等様々な多様性を認めそれを包み込む社会を構築することがこれからの世界の大きな課題になることを示唆しているような気がします。

さて、本日のプログラムは、地区委員の皆さまからの今年度の地区方針等についてのご説明をしていただきます。川原バスターガバナー、中村さん、小川さんどうぞよろしくお願い致します。

以上で、会長アドレスを終わります。ありがとうございました。

【幹事報告】 幹事 森迫直子

①8/4(火) 18:30~、ホテルレクストン鹿児島にて市内会長幹事会が開かれます。ここ最近のコロナの状況を鑑み、今回の会長幹事会は食事なしでの会議に変更になりました。今回に限り会場利用料として一人1,000円の会費となります。

②来週(8/4)の例会は、ホテルレクストン鹿児島で行います。

③事務局から「8月の例会のご案内」が届いていると思いますが、今週末までに出席をお知らせ下さい。またオンラインによる参加をなさる方は食事の都合もありますので、その旨をお知らせくださいますようお願いいたします。

④年会費の納入は、今月中にお願い致します。

【ニコニコBOX】

◆水流純大君・森迫直子君

本日のプログラムは地区委員の皆様からの今年度の地区方針等についてのご説明をして頂きます。川原バスターガバナー、中村さん、小川さん、どうぞよろしくお願い致します。

《ニコニコBOX 累計額 ￥22,000-》

【プログラム】クラブ協議会(地区委員)

・ロータリー米山記念奨学会 評議員

・地区諮問委員会

・ガバナー指名委員会

・地区70周年実行委員会

・地区研修委員会

・会員増強部門 部門長

・拡大委員会(鹿児島県)委員長・・・川原篤雄

2022~23年度RIテーマ「イマジニロータリー」年度 第2730地区山ノ内文治ガバナーより地区委員として委嘱されました川原篤雄です。拝命項目は多岐にわたりますが、本日は時間(8分以内)の都合で米山と増強(拡大)についてお話いたします。

まずは米山奨学会についてですが、公益財団法人として内閣府の監督認可の下に年間10数億円の基金が正しく運営されているかをチェックする役であり日本国内34地区よりガバナー経験者が任命され評議員会議が開催されます。

さて、次に会員増強についてですが、国際ロータリーとしてここ20数年120万人で会員数は増加しておりません。特に日

本の会員数は20年前には13万人でしたが前年度はコロナの影響もありますが9万人を切り本年は83,800人(3月ロータリーの友参考)となっております。当地区に於いても3300人が2300人となっております増強は喫緊の課題であります。そのための考動をせよと会員増強部門長を委嘱されました。従って地区内68クラブの会長(増強担当)に増強を最優先にお願いしなくてはなりません。また、バスターガバナーの使命として新クラブの拡大に全力を出したいと考えております。(DEIによる新しいクラブ等)

8月2日(火曜)鹿児島市内会長幹事会に出席して協力要請を行う予定です。新クラブは当サザンウインドがスポンサークラブ(副は令和RC)として協力をお願いします。

小生の部門方針は8月度月信を参考に、また時間をいただき増強の思いをお話できればと思っております。

・地区奉仕プロジェクト部門 国際奉仕委員会 委員・・・中村聡

国際ロータリーの中核的価値観 コアバリューには奉仕・親睦・多様性・高潔性・リーダーが挙げられています。

多様性は、民族・人種について語られることが多いですが、日本ではあまり「人種の問題」はないのですが、世界をみると多様な人種が集まり、価値観の相違や生活様式などさまざまです。相手を理解し自分も納得した上で相手の言うところを理解し尊重する心がけがとても大切だと思います。

国際奉仕は、世界に目をむけ世界各国のロータリーと手を携えて地球レベルでさまざまな問題解決や相手を理解していく心を養っていくことが国際奉仕の原点だと思っています。

地区には2つの姉妹地区があります。1つは、韓国RI第3661地区(釜山)と2つ目は、台湾RI第3481地区(台北)です。

台湾RI第3481地区には、昨年コロナ療養費を補助金より支出し、台湾地区を手助けすることができています。

グローバル補助金等活用しながら地区姉妹と手を携えて世界のためよいことを本年度も取り組んでまいります。

・米山記念奨学会部門 副委員長

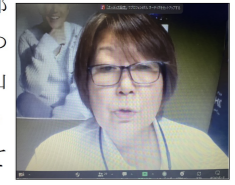
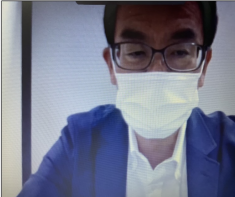
・米山学友委員会 委員長・・・小川ちえみ

2022-2023年度、地区米山記念奨学部門、副部門長と米山学友委員長を仰せつかりました小川です。この部門は、米山寄付推進委員会・米山奨学選考委員会・米山学友委員会の3委員会構成されています。

米山寄付推進委員会は、1人当たり普通寄付5,000円・特別寄付10,000円をお願いしております。ガバナー方針で各クラブに達しされています。目標達成をよろしくお願いいたします。

選考委員会では奨学生の選考を毎年、1月~2月に行います。推薦校が宮崎大学・九州保健大学・鹿児島大学・鹿児島国際大学・鹿児島大学で、其々にその年の募集を行います。

履歴書・小論文・個人の思い等々提出された書類に目を通し面接をします。採用されて奨学金を頂いて、勉強に専念出来る感謝していますという方もいれば、日本は嫌いだと思っ



ていないと国に帰れないとあって卒業していった方もいるそうで、色んな思いや事情があるんだと考えさせられました。

ちなみに、奨学金支給期間は6ヶ月～2年で、学生は10万円・大学院生は14万円です。

米山学友会は14～15年くらい前に鹿児島中央RCの榎会員他有志により設立されました。設立に動いたきっかけは、奨学期間が終了した後、音信不通になり所在も勤務先もわからないという各お世話クラブから寄せられた声だったそうです。その当地区の学友会は、現在会員は鹿児島在住の方々のみで、出身は韓国1名、中国8名、マレーシア1名、パキスタン1名、合計11名です。

現役奨学生も奨学生期間中は会員となります。

現会長は李彬彬さん、久留米東RCにお世話になっていた方で、岩崎産業にお勤めです。会員の皆さんはロータリアンとの交流を強く希望しております。地区研修・協議会の分科会の際にも各クラブへお願いとして、自クラブの親睦行事や学友会会員の卓話・奉仕活動への参加等ございましたらお声かけ下さいとお願いしてございます。またお世話クラブになられているクラブは、現役奨学生も学友会のイベントへの参加を推進して下さいようお願いしました。当クラブもぜひお声かけ下さい。

最後に余談ではございますが、2019～2021年度の間に西さんがカウンセラーをお引き受け下さっていた、ダール・アシス君ですが、奨学期間が満了した後、コロナの関係で出国できず、10ヶ月程、甕島でALTの仕事をしていました。

今年4月にアメリカのデューク大学に教授助手として採用が決まりアメリカに旅立ちました。専門分野の勉強をしながら仕事をしているそうです。

甕島に行くときも、アメリカに行くときも西さんや私にこまめに連絡をくれ、状況を知らせてくれていました。西さんがカウンセラーで良かったこと、クラブの皆さんがいつも気にかけてくれていたことをずっと感謝していました。彼は、奨学生の一番の役割である日本との懸け橋となる事をバングラデシュに帰国したら実行してくれるのではないかと期待しています。

皆様の温かいお心遣いに改めて感謝申し上げます。

・「RID2730 広報・公共イメージ部門 クラブ委員長会議」報告 公共イメージ委員会副委員長 松林秀実

7月24日(日)開催の広報・公共イメージ部門クラブ委員長会議に際し、報告申し上げます。



広報における基本方針の前提として、「ロータリーの存在を世間一般の人々に広く知らしめる」事が重要であることは言うまでもありませんが、今回の会議においては、それに追随して、もう一步踏み込んだ、「プラスワンの広報を」という事にフォーカスしています。人から人への紹介、宣伝が必要なのは言うまでもありませんが、それにプラスして、会員の「MY ROTARY」への更なる周知・活用が必要であると重ねて発表されました。

MY ROTARYには、クラブ発足以来、全世界のクラブ運営内容、活動、財団、ニュース等、実に様々な角度より、

ロータリーの全貌についてあまねく発信されています。まずは、会員一人一人が、アカウント登録し、実際に閲覧してみて、更なるクラブについての知識や情報の取得に努めて頂く事が必要です。

それに伴い、公共イメージ委員会としては、facebook、instagramなどのSNSツールを活用し、と同時にテレビ、ラジオ、新聞等のメディアとの連携により、「ロータリーの輪」を広げる事に力を注いでいきたいと思っております。首都圏のクラブなどでは、公共イメージ委員会と並立して、「DX(デジタルトランスフォーメーション)推進部門」なる部署を立ち上げ、ITを駆使し、クラブ認知に力を入れているという状況も聞いております。まずは、当クラブ内で出来る事から始めていきたいと考えます。

なお、今年度よりの週報に、「ロータリークイズ」を毎週出題致します。ロータリーにちなんだ豆知識です。これにより、少しでも皆様がロータリーの知識を深めて頂き、親しみのあるクラブ運営の一環になればという思いです。奮ってご参加、ご回答の方、よろしくお願い致します。

《ロータリークイズ NO.2 回答・解説》

回答 ⑥歌手

解説 その他に経験した職業は、大学講師、新聞社の通信員、ホテルの夜勤従業員など。

次回(第1139回)例会のお知らせ

日時：2022年8月18日(木) 12:30～13:30
場所：ホテルレクストン鹿児島
プログラム：会員卓話 (児玉里美会員)

出席報告

例会日	会員数	出席数	出席率%
第1137回7月28日(木)	43(41)	28	68.29

市内他RC例会プログラム

★は、記帳受付有り (ホームクラブ例会場)
鹿児島RC 8/5(金) RAC会長挨拶・助成金贈呈/
会員増強フォーラム (山形屋)
鹿大ア카데미-RC8/5(金) クラブ協議会(年間活動計画、
決算・予算報告)WEB例会 (稲盛記念館)
中央RC 8/8(月) 会員卓話 川路 理幸君 (山形屋)
令和RC8/8(月) クラブフォーラム(会員増強委員会)
ガバナー補佐訪問 (ホテルレクストン)
東南RC★8/9(火) 夜間例会 (サロイヤル)
城西RC 8/9(火) (ホテルレクストン)
南RC 8/10(水) 祝日休会 (サロイヤル)
西RC 8/10(水) クラブフォーラム(会員増強部門) (山形屋)
西南RC 8/10(水) クラブフォーラム(会員増強) (ゆうづき)
東RC 8/18(木) (ホテルレクストン)
北RC 8/18(木) クラブ強議会②(年間活動計画②)
(アトホテル鹿児島)